

鹿児島県選出衆議院議員・参議院議員 各位

鹿保協発11 - 46号
2012年3月19日
鹿児島県保険医協会
会長 高岡 茂

消費税増税法案提出の中止を求める要請

貴職の国政に果たされます重責に深く敬意を表します。

私ども鹿児島県保険医協会は、国民医療の向上と保険医の経営と生活の擁護を目指して活動する鹿児島県下の医科・歯科保険医約1,320名で構成する団体です。

さて、深刻なデフレや大震災による雇用の喪失や格差拡大等が進行し、国民生活及び日本経済は窮地に立たされているにも関わらず、政府は消費税増税を強引に押し進めようとしています。

1997年に消費税率が5%へ引き上げられた結果、医療の窓口一部負担増もあって国民負担増は約8.6兆円に達して景気は一気に落ち込み、その後も税収は低迷し、2011年度(予算額)は1997年より約1/4も税収減になっています。

現在のこの状況で消費税を増税し、年金の削減等も含め総額20兆円の負担増を実施すれば、国民生活及び日本経済は致命的な打撃を被り、税収全体が更に減少することは明らかです。

今、政治が行うべきは雇用の改善と経済成長であり、国民への増税ではありません。現下での消費税引き上げは最悪の政策的選択と言わざるをえません。

以上より、下記の点につきまして貴職のご理解とご尽力を賜りますようお願いいたします。

一、消費税増税法案の閣議決定・国会提出をやめること。